

# 第 17 回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会

## 議 事 録

1. 開催日時 平成 26 年 12 月 22 日（月） 13:00～15:00

2. 開催場所 奈良市役所中央棟 6 階 正庁

### 3. 出席者

会 長 奈良市長 仲川げん  
副 会 長 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授 藤井聡  
委 員 近畿運輸局奈良運輸支局長（代理） 伊藤徳男  
委 員 近畿地方整備局奈良国道事務所長 若尾将徳  
委 員 奈良市自治連合会代表（代理） 新堂順規  
委 員 社団法人奈良市商店街振興会長（代理） 白井基雄  
委 員 社団法人奈良市観光協会会長（代理） 門脇信義  
委 員 社団法人奈良県バス協会専務理事 西本光良  
委 員 奈良交通株式会社乗合事業部長 川邊経恭  
委 員 奈良県タクシー協会専務理事 吾妻孝義  
委 員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長（代理） 今西宏  
委 員 奈良県奈良警察署長（代理） 森田利敬  
委 員 奈良県警察本部交通部交通規制課長（代理） 朝山昭彦  
委 員 奈良県奈良土木事務所長 荒和弘  
委 員 奈良県県土マネジメント部次長 金剛一智  
委 員 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局次長 水本雅章  
委 員 奈良市市民生活部長 堀川茂美

事務局 奈良県県土マネジメント部道路環境課  
奈良市市民生活部交通政策課

## 4. 議事

### ◆事務局からの説明

- (1) 連携計画の目標達成状況について
- (2) 平成 26 年度春季・秋季の取組結果
- (3) なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行（案）
- (4) 平成 27 年度の実施内容（案）
- (5) その他 平成 25 年度監査報告

### ◆審議内容（主な意見）（●：委員の意見 ○：事務局回答）

- (1) 連携計画の目標達成状況について
- (2) 平成 26 年度春季・秋季の取組結果
  - 奈良市営 JR 奈良駅駐車場の利用促進を図るよりも、より好立地のはぐくみセンター駐車場へ誘導した方が、利用が増えるのではないかと。
  - JR 奈良駅周辺の駐車場対策について、観光目的の駐車場を整備することが求められていることは把握している。JR 奈良駅周辺の市営駐車場は、施設の附置義務や、放置自動車対策を主目的として整備した。観光目的の利用者を増やすための対策については、担当課と調整の上、今後検討する。
  - 平成 26 年度秋季は公共交通による来訪手段分担率が非常に高くなっている。次年度の取組に反映できるよう、今回の結果の妥当性を含め、要因分析を行うこと。
  - 要因分析について今後改善していく。
  - この秋に渋滞でぐるっとバスが一部運休することがあったが、このような事態の経年変化を捉えておくべき。
  - 了解した。
  - 現在は、三条通りが整備され大宮通り以外のルートも活用できる。大宮通りだけを見るのではなく、奈良市全体で見て交通を考えて欲しい。
  - 本協議会の趣旨とは異なるが、非常に関連の深いご意見であるため、関係各位に情報提供を行う。
- (3) なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行（案）
  - なら瑠璃絵期間のぐるっとバスの運行について、事務局の提案内容で了解されました。
- (4) 平成 27 年度の実施内容（案）
  - ぐるっとバスの奈良公園ルートについて、JR 奈良駅から近鉄奈良駅間の三条通りを通る案があったがどうなっているのか。
  - 実現に向けて現在取り組んでいるところである。

- 公共交通の利便性を高め、同時に自動車来訪者には P&R を実施することは重要な取り組みであるが、本協議会の目的は、公共交通の活性化によるモーダルシフトで、その結果が渋滞解消である。モーダルシフトを促すことが最重要課題で、京都や大阪の人に呼びかけることが非常に重要である。そういったモーダルシフトを促す取り組みについて、今回の資料には掲載されていないが、きちんと整理し来年度の取り組みにつなげること。
  - モーダルシフトを促す取り組みは引き続き実施し、効果分析についても整理して次年度の取り組みにつなげていきたい。
  - 資料 4 の 2.5 西の京方面の「観光周遊バス」運行に向けた取り組みについては、今回の協議会で運行実施が確定するものなのか。
  - 今回の協議会で運行実施が確定するものではなく、詳細については県と市において、今後検討し協議会に承認を諮るものである。
  - 西の京方面の「観光周遊バス」については、モーダルシフトを考えるのであれば、電車を使うのも一つの方法である。また、既存のバス路線も存在している。バス運行をする代わりに、木簡型乗車券で近鉄奈良駅から電車で西の京へ行ける様にすることも検討してはどうか。
  - 西の京方面の「観光周遊バス」については、来年の一つの検討項目であるので、1つの見解として参考にしたい。
- 平成 27 年度の実施内容について、事務局の提案内容で了解されました。